

令和6年度



# 園だより



文京区立根津幼稚園

令和7年～巳年がよい年となりますように～  
新年あけましておめでとうございます

園長 小島 喜代美

穏やかな初日の出とともに令和7年（2025年）がスタートしました。皆様は、どのような新年を迎えられましたか。久しぶりの家族団らん、のんびりとしたひと時を過ごされた方も多かったのではないかと思います。

一年前の一月一日の夕方、能登半島で大規模な地震が発生し、多くの方が被災され、いまだ避難所生活を送られています。報道での様子を見て、当たり前過ぎて日常に感謝するとともに気持ちの引き締まる思いであります。寒さの厳しい地域でもあり、能登半島をはじめとする被災された皆様の一日も早い復興を願っております。

さて、今年の干支は、「乙巳（きのとみ）」の年です。「乙（きのと）」は、草木がしなやかに伸びる様子や横へ広がっていく意味をもち、「巳（み・へび）」は、脱皮を繰り返すことから「再生と変化」、「不老長寿」を象徴する動物とされています。2つの組み合わせである「乙巳」には、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」、「努力を重ね、物事を安定させていく」といったよい意味があると言えます。

幼稚園では、本日より三学期がスタートしました。12月26日（木）から1月7日（火）までの13日間の冬季休業日を過ごし、久しぶりに登園してきた子どもたちの元気な声が響いています。休み中に身長が伸びて、心も体も大きくなった子どもたち。幼稚園で友達や先生と遊ぶことや、自分の興味・関心のある遊びを追求していくことへの期待等を感じます。12月の「お楽しみ会」では、3学年合同でお弁当を食べた後に、交じり合っ一緒に鬼遊びや大縄跳びを楽しむ姿が見られました。これまでに日頃の遊びの中で学年を超えて一緒に遊ぶ経験、楽しかった経験を積み重ねてきたことが、自然な関わりにつながっていると実感しました。また、12月には文京区教育研究協力園として「幼児の遊びを支える環境構成の工夫～空間の活用方法を探る～」について研究発表会を開催し、146名のご参会の皆様とともに学びの機会を得ることができました。当日は、本園PTAさつき会の皆様、根津小学校四家校長先生をはじめとする教職員の皆様にもご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。本研究での学びを今後の教育の充実に生かしてまいります。

三学期は3ヶ月弱という短い期間ですが、子どもたちは進級、就学に向けて、心も体も大きく成長する時期となります。5歳児ほし組から4歳児はな組に、誕生会の司会や、動物の世話、お休み調べなど、幼稚園生活に必要な係や当番の引継ぎを行い、年長組へのバトンを渡していきます。そのような活動を通して、成長の喜び、別れの寂しさなどを感じ互いの心が大きく育っていきます。3歳児りす組も、4月には新しい子どもたちが入園してくることが分かり、お兄さん、お姉さんになるという気持ちが育っていきます。

本年も教職員一同、保護者や地域の皆様との連携を重視し、子どもたちの健やかな成長のために教育活動の充実に努めてまいります。保護者の皆様には、保護者アンケート（学校評価）へのご協力をいただき、ありがとうございました。後日、ホームページにて結果をお知らせいたします。

飛躍の一年となりますように、本年も、どうぞよろしく願いいたします。

